



JOYFUL HONDA

2016年6月期 第2四半期 決算説明会資料
2016年2月9日

株式会社 Joyful Honda



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2016年2月8日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



1. 16/6期上期決算内容

2. 16/6期取組の進捗

3. 16/6期通期予想

4. 参考資料

(2015年6月期末決算説明会資料抜粋、中期経営計画)



1. 減収トレンドに歯止め

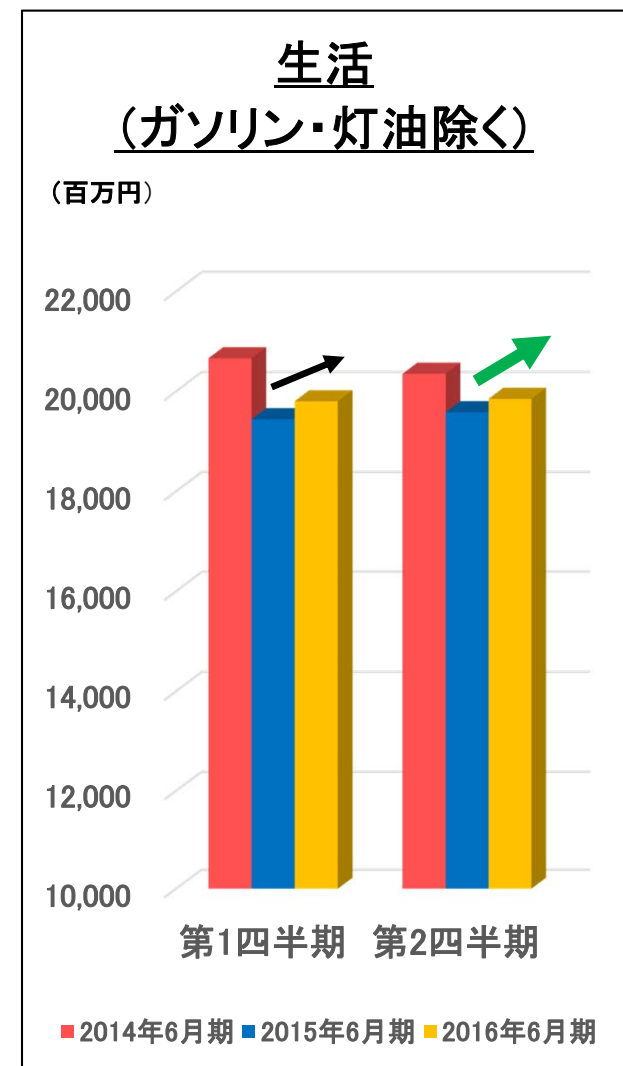
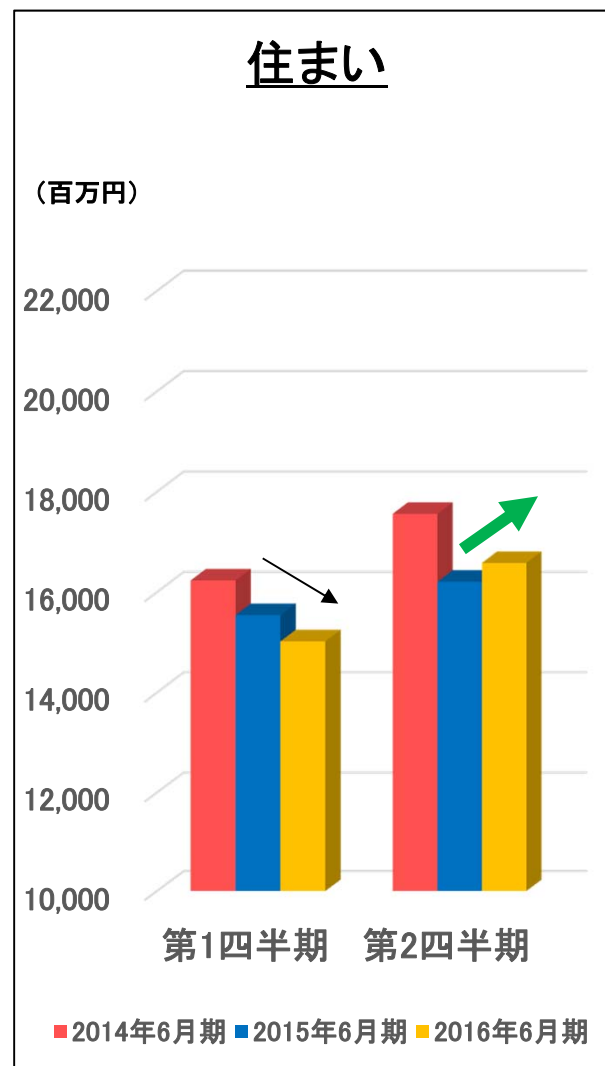
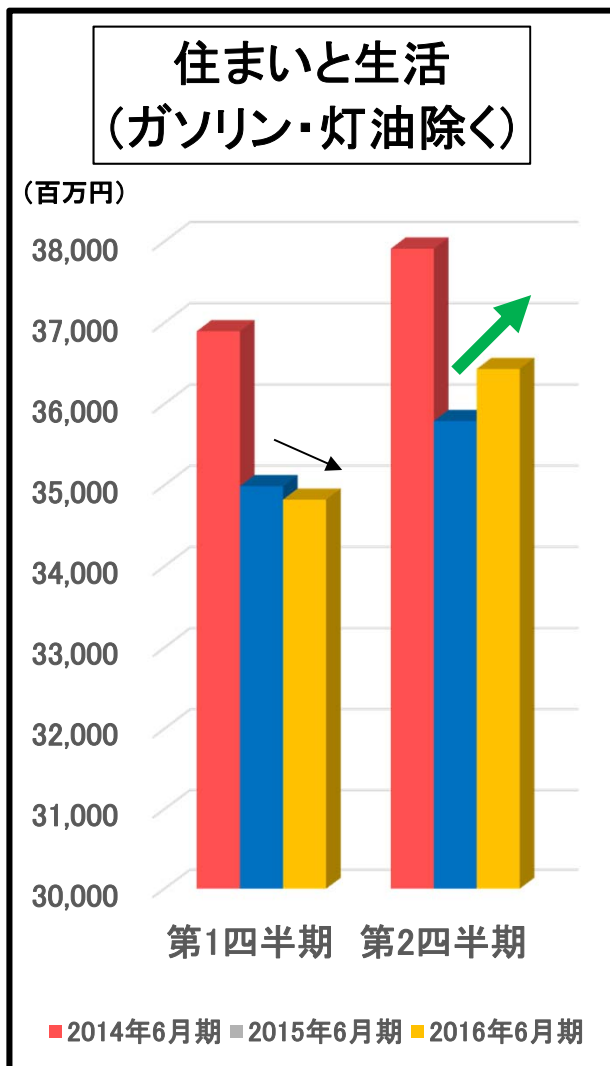
- ・大幅に価格が下落したガソリン・灯油の影響で減収
- ・一方、ガソリン・灯油除く売上高は増収に転じ、減収トレンドに歯止め

2. 増益に反転

- ・コストコントロールによる販管費削減の成果が顕在化
- ・ガソリン・灯油除く売上総利益高も前期比プラスに転じる

3. 新組織⇒意思決定の迅速化

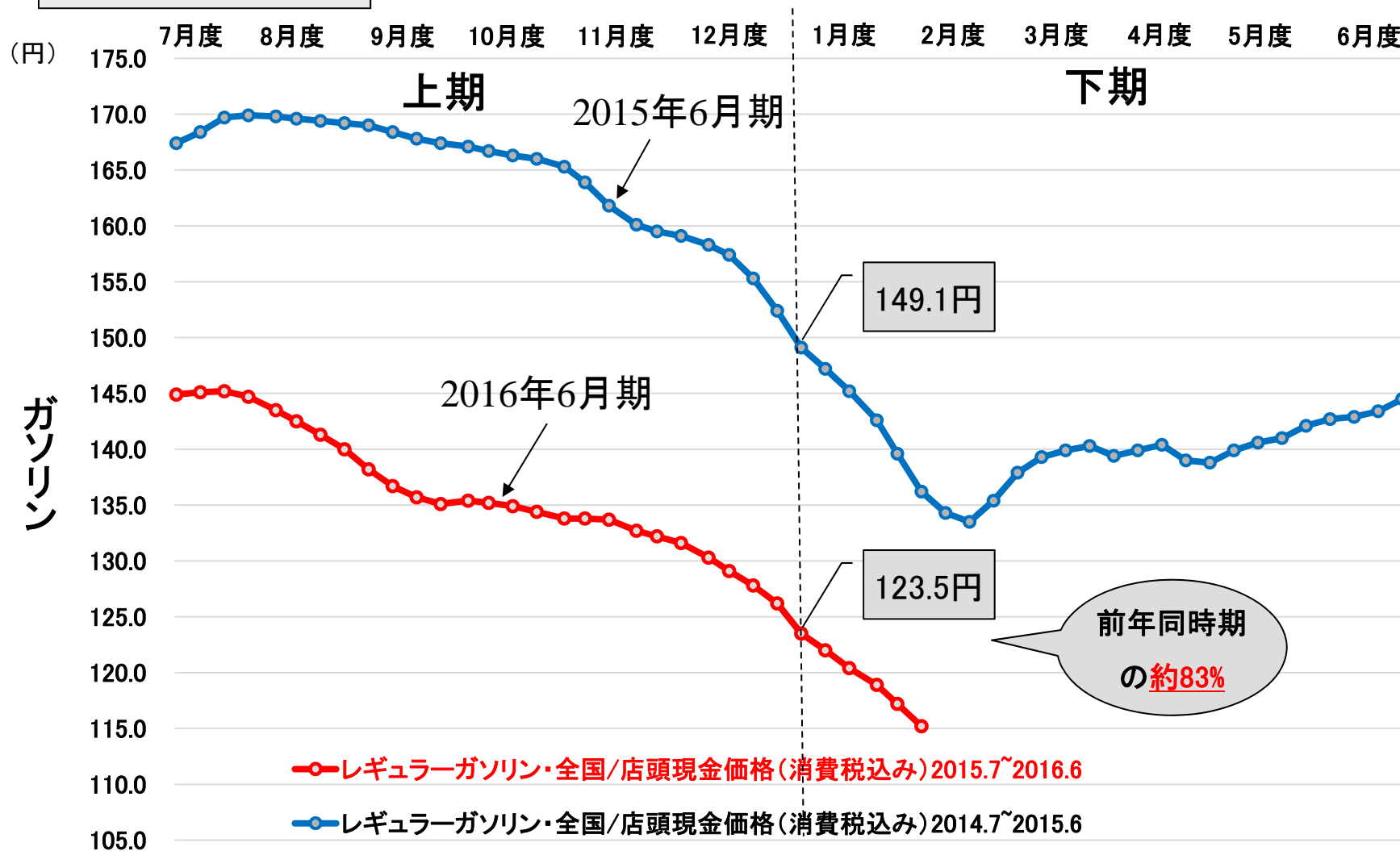
※新規出店はなし、既存店ベース



第2四半期でガソリン・灯油除く売上高は増収へ反転、減収トレンドに歯止め
住まいと生活(ガソリン・灯油除く)の両分野で増収へ反転



ガソリン価格の推移



ガソリン・灯油価格の想定以上の下落により売上に大きく影響

	2015年6月期 上期 実績		2016年6月期 上期 予想(公表)		2016年6月期 上期 実績			
	実績	(売上高 比率)	予想	(売上高 比率)	実績	(売上高 比率)	前期比	予想比
売上高	82,077	(100.0%)	81,100	(100.0%)	79,963	(100.0%)	97.4%	98.6%
売上総利益	20,094	(24.5%)	20,400	(25.2%)	20,189	(25.2%)	100.5%	99.0%
営業収入	2,233	(2.7%)	2,260	(2.8%)	2,293	(2.9%)	102.7%	101.5%
営業総利益	22,328	(27.2%)	22,660	(27.9%)	22,483	(28.1%)	100.7%	99.2%
販管費	18,731	(22.8%)	18,860	(23.3%)	18,260	(22.8%)	97.5%	96.8%
営業利益	3,596	(4.4%)	3,800	(4.7%)	4,223	(5.3%)	117.4%	111.1%
経常利益	4,304	(5.2%)	4,380	(5.4%)	4,913	(6.1%)	114.1%	112.2%
当期純利益	2,544	(3.1%)	2,730	(3.4%)	3,211	(4.0%)	126.2%	117.6%
参考: 売上高 (ガソリン・灯油除く)	71,637	(87.3%)	72,200	(89.0%)	72,120	(90.2%)	100.7%	99.9%

上期は減収増益、売上高は前期比97.4%、予想比98.6%
営業利益は前期比117.4%、予想比111.1%



◎売上高

- ・減収(前期比97.4%、▲2,114(百万円))、新規出店なし
- ・ガソリン・灯油部門の減収(前期比75.1%、▲2,597(百万円))が最大要因
- ・ガソリン・灯油を除く売上高(前期比100.7%、+482(百万円))

◎販管費

- ・減少(前期比97.5%、▲471(百万円))
- ・水道光熱費の減少(前期比73.0%、▲283(百万円))が主要因

◎営業利益

- ・増益(前期比117.4%、+626(百万円))
- ・売上総利益の改善(金額:前期比100.5%、+95(百万円)、率:24.5%→25.2%と0.8%の上昇)
- ・ガソリン・灯油を除く売上総利益も改善(金額:前期比100.8%、+152(百万円))^{注)1}
(付加価値商品の積極的な導入と原価交渉による仕入れ価格の低減)
- ・営業収入の増加(前期比102.7%、+59(百万円))

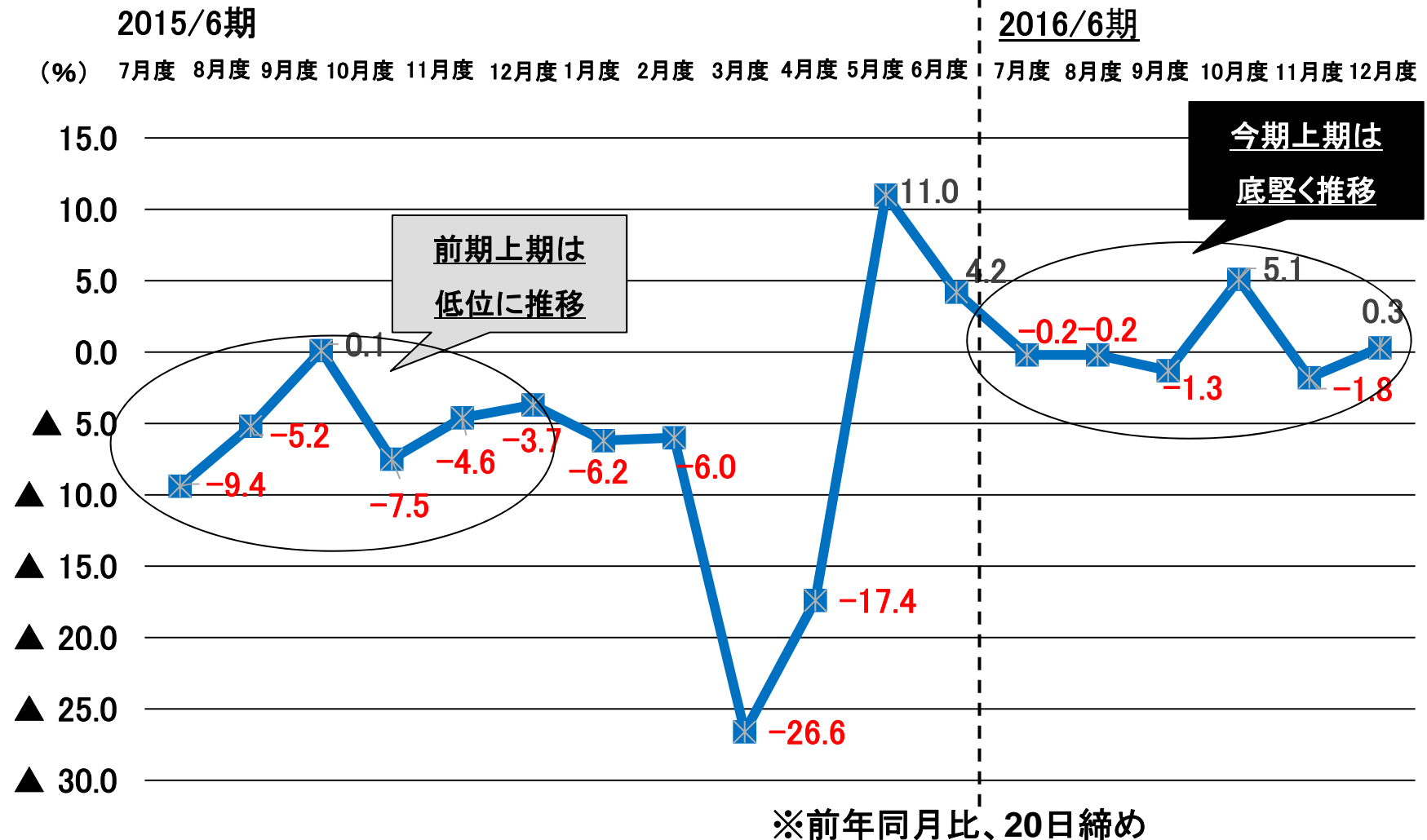
◎当期純利益

- ・増益(前期比126.2%、+666(百万円))

ガソリン・灯油を除く売上高は前期比100.7%と増収、販管費削減&売上総利益の改善を主因に増益、ガソリン・灯油を除く売上総利益高も前期比100.8%と増加



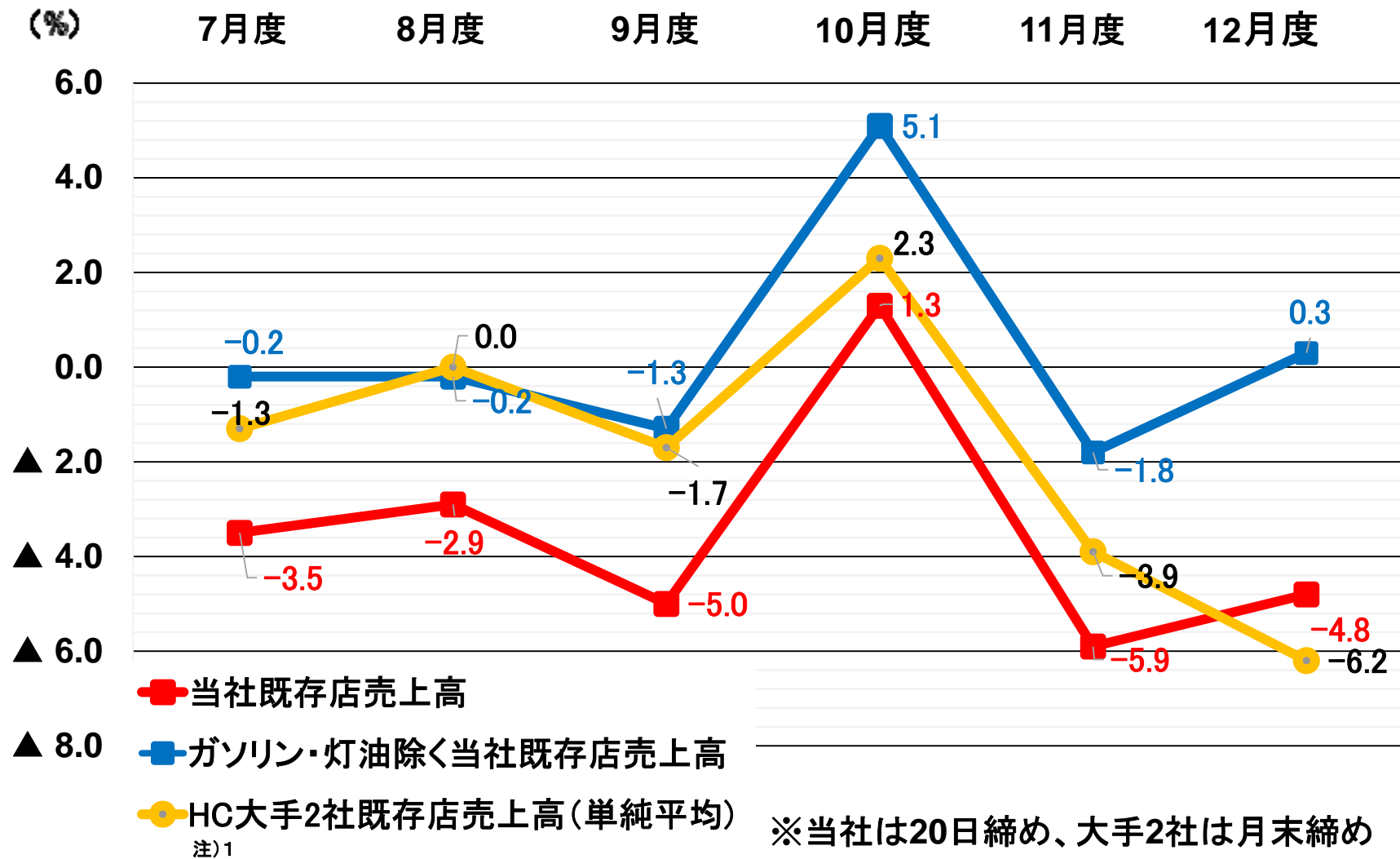
(前年同月比)



今期上期のガソリン・灯油部門除く売上高は底堅く推移



2016/6期



上期のガソリン・灯油を除いた売上高は
大手ホームセンター2社の既存店平均を上回って推移

注)1 大手2社のうち1社の既存店売上高は、灯油を除く数値が公表されており、それを採用。



◎人件費：生産性向上(業務プロセスの見直し)施策の効果により減少

◎減価償却費：LED照明入替工事の金額が当初予算を下回ったことや、空調機器入替実施時期の変更(下期へ)等により減少

◎水道光熱費：LED照明への切替効果により、前年同期比大幅減

金額：百万円

	上期			
	2015年 6月期 実績	2016年 6月期 実績	前期比	前期比 (金額)
販管費合計	18,731	18,260	97.5%	▲471
人件費	11,513	11,276	97.9%	▲236
減価償却費	1,783	1,762	98.8%	▲21
水道光熱費	1,051	768	73.0%	▲283

前期より入替えを開始したLED照明による
光熱費の大幅な削減効果で販管費は減少



◎設備投資

金額:百万円

	2015年 6月期 上期 実績	2016年 6月期 上期 計画	2016年 6月期 上期 実績	前期比	対計画比
設備投資	1,136	3,808	1,773	156.1%	46.6%

◎キャッシュフロー

金額:百万円

	2015年 6月期 上期実績	2016年 6月期 上期実績
営業活動によるキャッシュフロー	5,621	4,490
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,337	▲2,412
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,569	▲1,827
現金及び現金同等物の増減額	2,714	250
現金及び現金同等物期末残高	40,943	42,990

設備投資は、店舗の増改装、LED照明への切替えが主体
空調設備の入替えは下期へ変更



金額:百万円

		2015年6月期 期末	2016年6月期 第2四半期末	前期末比
資 産 の 部	流動資産	103,488	106,475	+2,987
	現金及び預金	80,278	81,028	+750
	売掛金	2,280	2,769	+488
	商品	19,355	21,164	+1,809
	固定資産	77,052	76,999	▲53
	資産合計	180,541	183,474	+2,933
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流動負債	19,703	20,977	+1,273
	買掛金	10,102	12,320	+2,218
	固定負債	10,755	10,789	+34
	負債合計	30,458	31,766	+1,307
	純資産合計	150,082	151,707	+1,625
	負債純資産合計	180,541	183,474	+2,933

商品回転期間は、減収の影響で第2四半期実績1.52ヶ月(前年同期比+0.03ヶ月)
 商品は前期末比大幅増加も、前年同期比では+0.6%、117(百万円)増に留まる



1. 16/6期上期決算内容

2. 16/6期取組の進捗

3. 16/6期通期予想

4. 参考資料

(2015年6月期末決算説明会資料抜粋、中期経営計画)



1. 減収トレンドに歯止め

- ・新規商品の投入&既存店への設備投資

2. 増益に反転

- ・コストコントロールによる販管費削減

3. 客数・客単価向上施策

- ・早朝営業・カード戦略等の各種施策の実行

4. 新組織

- ・売場と仕入の一体化と迅速化



金額:百万円

	2016年6月期 上期 実績						
	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	第2四半期累計	前期比	前期比(額)
住まいに関する分野	15,018	96.6%	16,581	102.3%	31,599	99.5%	▲150
住宅資材・DIY	4,788	97.7%	5,265	101.2%	10,054	99.5%	▲47
住宅インテリア	2,139	101.7%	2,494	100.0%	4,633	100.8%	+34
ガーデンライフ	1,570	90.7%	2,185	106.4%	3,756	99.2%	▲29
アグリライフ	2,375	94.8%	1,787	97.2%	4,162	95.8%	▲182
エクステリア	1,291	86.3%	1,518	98.9%	2,810	92.7%	▲222
リフォーム	2,852	101.7%	3,330	108.1%	6,182	105.0%	+295
生活に関する分野	23,514	96.8%	23,981	95.2%	47,495	96.0%	▲1,971
生活雑貨	15,046	102.6%	14,136	100.5%	29,182	101.6%	+458
ガソリン・灯油	3,710	76.6%	4,131	73.8%	7,842	75.1%	▲2,597
ペット	2,068	101.8%	2,142	107.6%	4,211	104.6%	+186
アート・クラフト、HC周辺事業	2,456	98.0%	3,378	101.9%	5,834	100.2%	+12
ホームセンター事業合計	38,532	96.7%	40,562	98.0%	79,095	97.4%	▲2,121
その他	436	100.6%	430	101.1%	867	100.8%	+7
連 結 合 計	38,969	96.8%	40,993	98.0%	79,963	97.4%	▲2,114

第1四半期から生活雑貨、ペット、住宅インテリア、リフォームが増収へ反転
 第2四半期からは、さらに住宅資材・DIY、ガーデンライフ、アート・クラフトも増収へ反転



・1Qより増収へ反転

- ・生活雑貨(2Q累計101.6%)⇒新商品の付加、猛暑分のプラス効果
- ・ペット(2Q累計104.6%)⇒犬猫生体、トリミングが好調、売場の改装
- ・リフォーム(2Q累計105.0%)⇒サニタリア部門が好調、洪水復旧特需
- ・住宅インテリア(2Q累計100.8%)⇒新商品の付加、売場の改装

・2Qより増収へ反転

- ・住宅資材・DIY(1Q97.7%→2Q101.2%)⇒新商品の付加、増改装
- ・ガーデンライフ(1Q90.7%→2Q106.4%)⇒新商品の付加、暖冬
- ・アート・クラフト(1Q98.0%→2Q101.9%)⇒時節商品の販売増

・2Qより改善

- ・アグリライフ(1Q94.8%→2Q97.2%)⇒洪水で田畑に被害、雪かきスコップ特需なし
- ・エクステリア(1Q86.3%→2Q98.9%)⇒洪水による完工遅れ、前期は雪害特需の完工残有

※赤字 生活の分野の商品、青字 住まいの分野の商品 ()内は前期比%

新商品の積極的な付加と同時に、売場の改装も強力に推進
売場と商品が一体化した取組みにより増収へ反転



注) (⇒カッコ内は進捗状況)

◎販管費の削減

- ・16/6期上期計画 18,860(百万円)と前期比100.7%、通期38,450(百万円)と前期比101.3%を計画
(⇒16/6期上期実績 18,260(百万円)と前期比97.5%)
- ・16/6期計画の省エネ対策工事
 - ・LED照明切替工事 残7店舗 (⇒上期末で6店舗にて実施済、最終1店舗も今期中に完了予定)
 - ・空調設備入替工事 10店舗 (⇒現時点では未実施、1店舗除く計9店舗で4月度までに完了予定)
※空調設備入替で同時に店内の快適性アップも狙う
 - ・屋上駐車場防水塗膜工事 2店舗 (⇒現時点では未実施、2店舗ともに今期中に完了予定)

◎業務プロセスの見直し

- ・16/6期計画 自動釣銭機全店導入、残置運用全店開始
- ・自動釣銭機の導入、残置運用の実施 残10店舗
(⇒上期末で6店舗にて実施済、残4店舗は3月度までに完了予定)

省エネ(節電)投資・業務改善で経費削減を推進
空調工事は下期に変更



注) (⇒カッコ内は進捗状況)

◎客数の増加 単体ベース(⇒16/6期上期実績 前期比97.8%)

ガソリン・灯油除く単体ベース(⇒16/6期上期実績 前期比98.4%)

◎客単価のアップ 単体ベース (⇒16/6期上期実績 前期比98.7%)

ガソリン・灯油除く単体ベース(⇒16/6期上期実績 前期比101.9%)

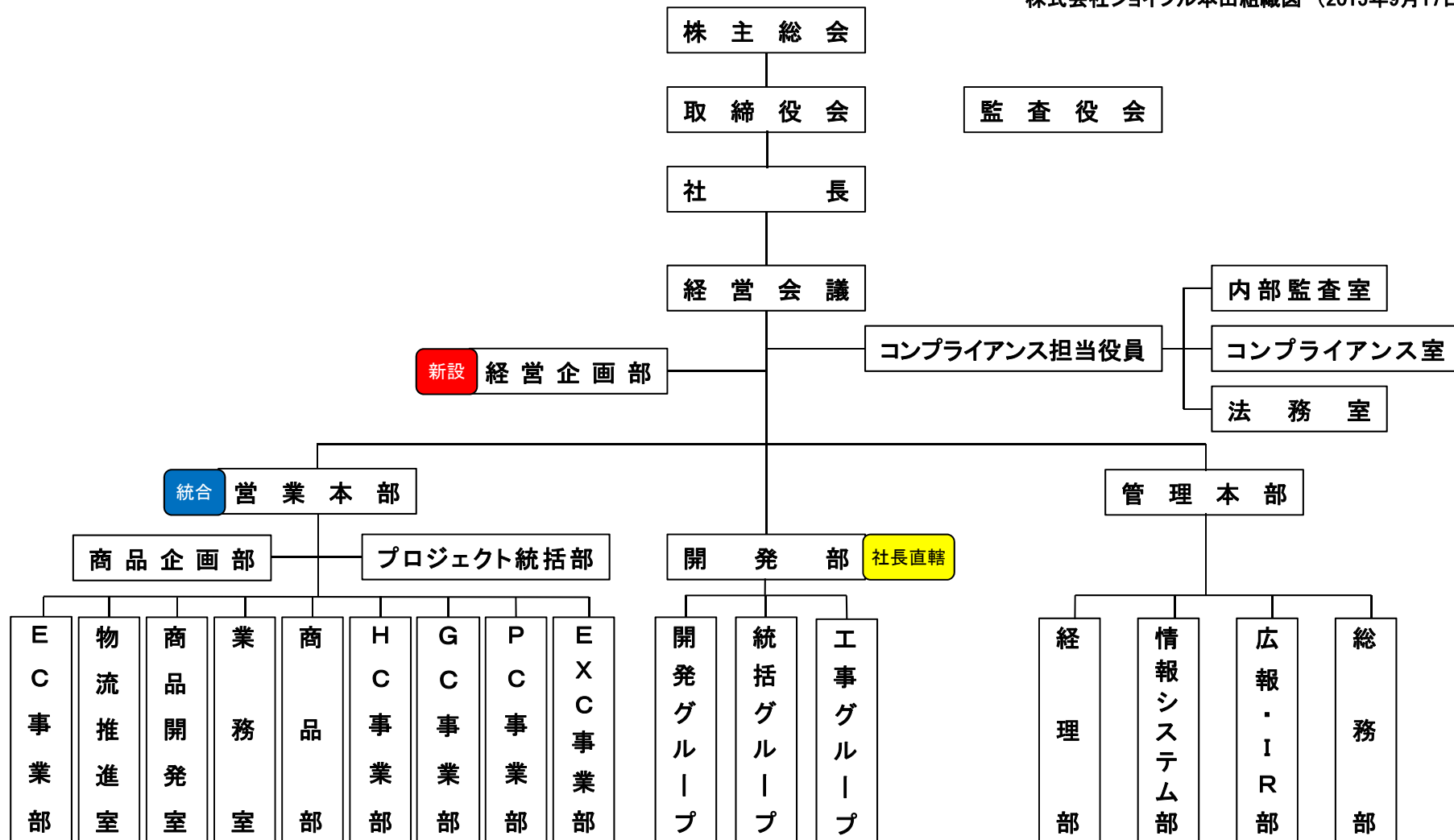
◎各施策の進捗状況

- ・資材館の早朝営業の拡大(⇒現状の5店舗から、3月度に新たに3店舗で開始予定、午前7時～に統一)
- ・トラック貸出(⇒9店で対応開始済、好評につきGW前に貸出トラック増車予定)
- ・カード戦略(⇒プロ、農家向けボリュームディスカウント開始、ガソリンスタンドでも汎用カード使用可に、Tポイントは導入に向け鋭意準備中)
- ・EC事業(⇒第2四半期累計売上高121(百万円)、前期比112.6%)
- ・ネット取り置きサービスの開始(⇒全店で対応開始済)
- ・デジタルサイネージ(⇒1店舗目での効果検証中)
- ・ジョイコミュカード(顧客参加型イベント)会員の増加(⇒第2四半期末現在8,000名(前期末比2,600名増))

(単体ベース)客数は前期比▲2.2%、客単価は▲1.3%⇒売上高▲3.5%
ガソリン・灯油部門を除く客数は前期比▲1.6%、客単価は+1.9%⇒売上高+0.3%



株式会社ジョイフル本田組織図 (2015年9月17日付)



注)HC事業部 ホームセンター事業部、GC事業部 ガーデンセンター事業部
 PC事業部 ペットセンター事業部、EXC事業部 エクステリアセンター事業部

ニーズに合った商品の品揃え強化のため商品本部と営業本部を統合
 施策実行スピードアップのため経営企画部を新設、開発部は社長直轄に変更



1. 16/6期上期決算内容

2. 16/6期取組の進捗

3. 16/6期通期予想

4. 参考資料

(2015年6月期末決算説明会資料抜粋、中期経営計画)



金額:百万円

	通期			
	2015年 6月期実績	2016年 6月期予想	(売上高 比率)	前期比
売上高	162,351	163,800	(100.0%)	100.9%
売上総利益	40,232	41,200	(25.2%)	102.4%
営業収入	4,510	4,550	(2.8%)	100.9%
営業総利益	44,742	45,750	(27.9%)	102.3%
販管費	37,954	38,450	(23.5%)	101.3%
営業利益	6,788	7,300	(4.5%)	107.5%
経常利益	8,070	8,400	(5.1%)	104.1%
当期純利益	4,560	5,300	(3.2%)	116.2%
参考:売上高(ガソリン・灯 油除く)	142,079	145,200	(88.6%)	102.2%

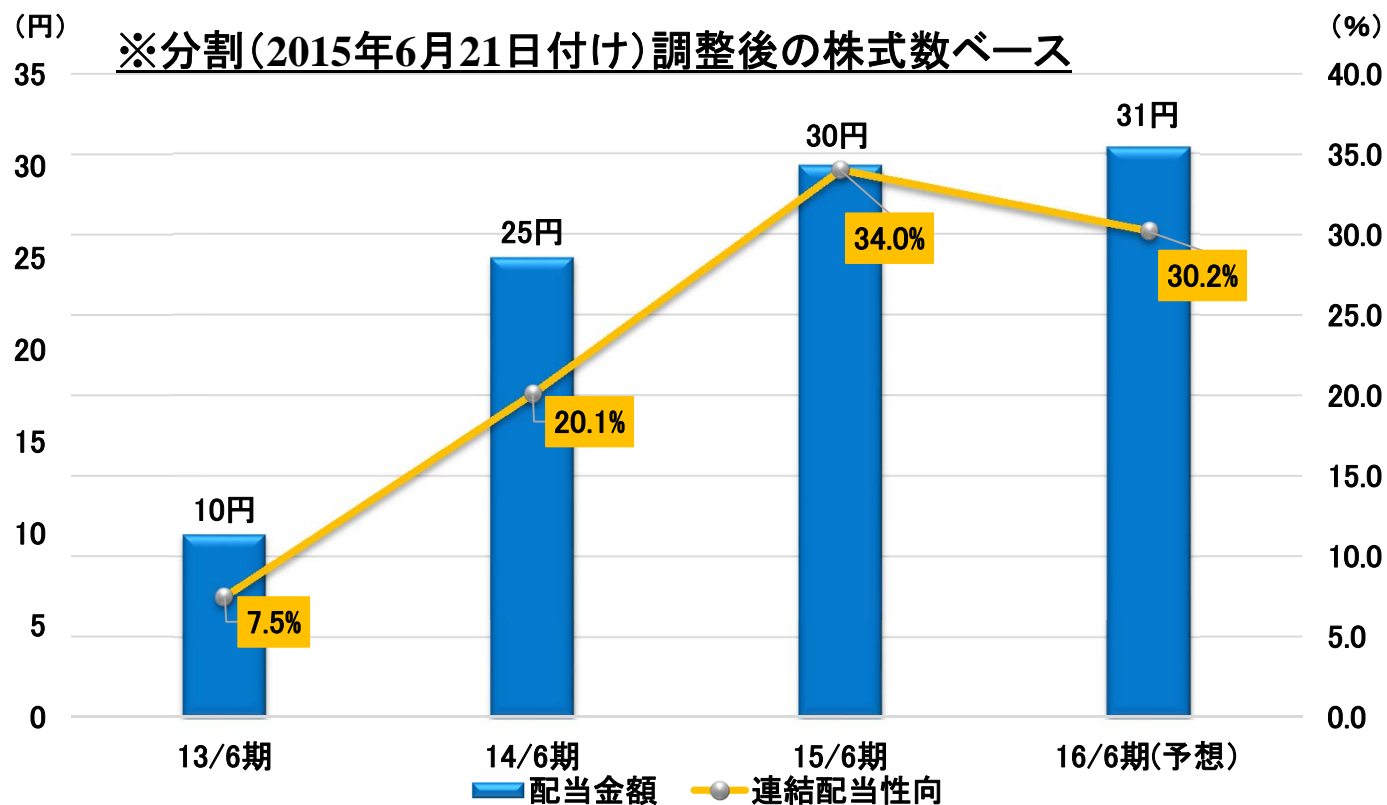
通期予想は据え置き



◎基本方針

中期的には、連結配当性向30%を目途に、継続的かつ安定的に配当水準を向上

◎配当金額と連結配当性向の推移



今期の配当は31円(前期比1円増)を予定

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。ご了承ください。

JOYFUL HONDA

お問い合わせ先
広報・IR部





1. 16/6期上期決算内容

2. 16/6期取組の進捗

3. 16/6期通期予想

4. **参考資料**

(2015年6月期末決算説明会資料抜粋、中期経営計画)



基本方針

～地域一番店としてお客様の支持を得続けること～

重点戦略

狙い

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 新たな顧客
戦略の推進 | ◆ 新規顧客、休眠顧客の開拓
◆ 既存顧客の囲い込み |
| 2. 商品戦略
の強化 | ◆ 独自開発商品の増加
◆ EC事業とリアル店舗の連携強化 |
| 3. 店舗運営戦略
の強化 | ◆ 当社の強みを活かした店舗運営の強化
◆ 業務効率化による経費削減 |
| 4. 成長戦略
の推進 | ◆ 新規出店の積極化
◆ 業界集約化への対応 |

基本方針と4つの重点戦略を明確化



金額:百万円

中期経営計画 業績目標	2015年6月期		2018年6月期		
	実績	(売上高 比率)	予想	(売上高 比率)	(15/6期比)
売上高	162,351	(100.0%)	172,300	(100.0%)	106.1%
営業利益	6,788	(4.2%)	10,280	(6.0%)	151.4%
経常利益	8,070	(5.0%)	11,430	(6.6%)	141.6%
当期純利益	4,560	(2.8%)	7,500	(4.4%)	164.4%
期末店舗数	15		16		

※中期経営計画期間:2016年6月期~2018年6月期

3年間で新店1店舗の出店と利益率の改善を推進

メモ

